

平成 16 年度（社）日本音響学会九州支部活動報告書

2005 年 3 月 31 日

日本音響学会九州支部 庶務幹事 緒方公一

以下、役員会および総会の資料に沿って、報告、審議事項を説明し、活動報告としたい（役員会の議事は総会と同じ）。これらの報告、審議事項はすべて役員会および総会によって承認された。

平成 17 年度（社）日本音響学会九州支部総会資料

会 場：熊本大学工学部 黒髪総合研究棟 2 F, 204 多目的会議室
熊本市黒髪 2-39-1

日 時：平成 17 年 3 月 26 日（土曜日）
（13:00 ～ 14:20 役員会，黒髪総合研究棟 2 F, 208 セミナー室にて）
14:30 ～ 16:00 総 会
16:00 ～ 16:15 学生表彰式
16:20 ～ 17:10 講演会
講演会終了後 懇親会

総会議事：14:30 ～ 16:00

1. 平成 16 年度活動報告
2. 平成 16 年度収支報告
3. 平成 16 年度会計監査報告
4. 平成 17 年度活動計画
5. 平成 17 年度予算案
6. 新役員及び評議員の承認について
7. 日本音響学会九州支部規則および細則の改正について
8. 電気関係学会九州支部連合会役員の承認について
9. 電気関係学会九州支部連合会運営について
10. 電気関係学会九州支部連合会の著作権規定について
11. 支部学生表彰について
12. その他

学生表彰式：16:00 ～ 16:15

講演会：16:20 ～ 17:10

琉球大学 総合情報処理センター長 工学部 情報工学科 高良富夫 教授
「音声言語処理と遠隔教育」

（琉球大学からインターネットで中継）

1. 平成 16 年度活動報告

事業年度：平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日

(1) 平成 16 年度会員現況

会員種別	平成 16 年 3 月 31 日現在	平成 17 年 3 月 31 日現在	平成 16 年度内 の増減
名誉会員	0	0	0
終身会員	4	4	0
正会員	190	185	-5
学生会員	76	98	+22
会員数 合計	270	287	+17
賛助会員	4 社 4 口	4 社 4 口	0

(2) 支部総会定足数の確認

支部総会（平成 17 年 3 月 26 日 14:30～16:00）において、

議決権を持つ会員数：名誉会員数、終身会員数、正会員数の合計であるので 189 名、

定足数：38 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1）、

出席者 24 名、委任状 59 名、計 83 名であるので、総会成立。

(3) 事業内容

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

開催日	支部主催、 共催の別	会合名（開催場所）
6 月 25 日（金）	共催	建築音響研究会（九州大学・箱崎キャンパス）
9 月 27,28 日（月、火）	共催	電気関係学会九州支部連合大会（鹿児島大学）
11 月 25, 26 日（木、金）	共催	応用（電気）音響研究会（大分大学）
12 月 4, 5 日（土、日）	共催	聴覚・音楽音響研究会 九州大学 COE シンポジウム（九州大学・大橋キャンパス）
12 月 17 日（金）	共催	騒音・振動研究会（九州大学・大橋キャンパス）
12 月 17 日（金）	共催	建築音響研究会（大分県別府市）
1 月 22 日（土）	共催	YKJCA2005（Pukyong National Univ. Busan）
9 月 28～30 日（火～木）	日本音響学会 2004 年秋季研究発表会 （琉球大学 高良富夫実行委員長）	

2. 学生表彰の実施

平成 16 年度内に九州支部が主催または共催した，研究発表会，研究会における学生の口頭発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する事業を行った。応募者を増やすため，共催の研究会に座長推薦を依頼したが，今年度は 1 件の推薦があった。今年度は，審査を平成 17 年 2 月に行い，3 月の総会開催時に表彰式ができるようにした。応募者数 6 名，審査協力者数 10 名，表彰対象者数 3 名（表彰対象者の詳細は後の議事で報告）。

3. 電気関係学会九州支部連合会における活動

1 電気関係学会九州支部連合大会

平成 16 年 9 月 27, 28 日に，鹿児島大学工学部で開催。

総数 716 件の発表が行われた。

応用音響・音声部門では 18 件の発表が行われた。

2 会議出席

- 平成 16 年 4 月 27 日 新旧幹事会出席（九州大学）
- 平成 16 年 5 月 24 日 第 1 回役員会（新旧役員会）出席（九州大学）
- 平成 16 年 9 月 13 日 幹事会出席（九州大学）
- 平成 16 年 9 月 27 日 第 2 回役員会出席（鹿児島大学）

（上記会議の主な審議事項は，電気関係学会九州支部連合会規則の改正，連合大会の運営方法，著作権規定。詳細は後の議事で報告）

3 連合大会運営委員会委員

平成 16 年度大会 熊本大学工学部 荻木禎史委員

平成 17 年度大会 福岡工業大学情報工学部 福島 学委員

4. 韓国音響学会嶺南支部との連携

韓国音響学会嶺南支部との第 2 回合同会議である嶺南九州音響学会議 2005 「Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics: YKJCA-2005」の開催（開催地：韓国）。

日時 平成 17 年 1 月 22 日（土）/ 会場 Pukyong National University, Busan

招待講演 2 件

（1）Prof. Akira Watanabe, Chair of Kyushu Chapter of ASJ

（2）Prof. Jong Rak Yoon, Former Char of Youngnam Chapter of ASK

一般講演 35 件（内訳 日本 19 件，韓国 16 件）

2 年後に第 3 回を九州で開催する。

(4) 事務，その他の活動

1. メーリングリストの維持，管理

アドレスの維持，管理。熊本大学に所属する会員のボランティアによる運営。

2. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書，支部からのお知らせ，支部行事の報告，研究室訪問の充実。同上のボランティアによる運営。

3. 役員選挙の実施および役員会，総会の開催

平成 17 年 3 月に実施，開催。

2. 平成16年度収支報告（予算費目変更を含む）

予算費目の見直しについて

本部事務局より、支部会計マニュアルが配布されたため、それに従って収支決算書を作成することとした。本表はこれに伴う平成16年度予算の枠組みの見直し対応表である。

平成16年度予算（見直し前）

収入の部	平成16年度 予算額
■ 日本音響学会支部交付金	396,000
■ 雑収入	0
当期収入合計 (A)	396,000
■ 繰越再交付金	653,556
収入合計 (B)	1,049,556

平成16年度予算（見直し後）

収入の部	平成16年度 予算額	備考
■ 補助交付金	396,000	
● 支部交付金	396,000	費目名変更
■ その他の収入	0	費目名変更
当期収入合計 (A)	396,000	
前期繰越再交付金	653,556	費目名変更
収入合計 (B)	1,049,556	

支出の部	平成16年度 予算額
■ 事務費	154,155
● 支部総会経費	29,155
○ 支部総会会場費	4,155
○ 講演謝礼	0
○ アルバイト	20,000
○ 雑費	5,000
● 通信費	40,000
● 文具消耗品費・雑費	25,000
● ネットワーク環境整備	30,000
● 給与諸給	10,000
● 諸手数料	5,000
● 雑費	15,000
■ 事業費	345,360
● 電気関係学会九州支部連合会分 担金	30,000
● 学生のための研究発表会	0
○ 会場使用料	0
○ 特別講演準備補助(2名分)	0
○ 講演資料作成費	0
○ アルバイト	0
○ 雑費	0
● 講演会・研究会開催支援	60,000
● 学生表彰	45,360
● 交流推進経費	40,000
○ 連合大会準備推進費	0
○ ASK嶺南支部交流費	40,000
● ASK嶺南-ASJ九州合同音響会議 (名称: Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics)	140,000
○ 講演資料作成費	40,000
○ 会場費	0
○ アルバイト	60,000
○ 通信費印刷費	20,000
○ 雑費	20,000
● 雑費	30,000
■ 予備費	0
● 予備費	0
当期支出合計 (C)	499,515
当期収支差額 (A)-(C)	△ 103,515
次期繰越収支差額 (B)-(C)	550,041
★ 繰越金返金	550,041
支部繰越金	0

支出の部	平成16年度 予算額	予算備考
■ 事務費	154,155	
● 支部総会経費	26,655	
○ 支部総会会場費	4,155	
○ 講演謝礼	0	
○ アルバイト	20,000	
○ その他の経費	2,500	費目見直し（総会に関わるその他経費）
● 役員会費	2,500	費目見直し（総会経費→役員会費）
● 通信印刷費	40,000	費目名変更
● 文具消耗品費	25,000	費目名変更
● ネットワーク環境整備費	30,000	
● 給与諸給	10,000	
● 諸手数料	5,000	
● その他の管理費	15,000	費目名変更
■ 事業費	345,360	
● 電気関係学会九州支部連合会分 担金	30,000	
● 学生のための研究発表会	0	
○ 会場使用料	0	
○ 特別講演準備補助(2名分)	0	
○ 講演資料作成費	0	
○ アルバイト	0	
○ その他の経費	0	費目名変更
● 講演会・研究会開催支援	60,000	
● 学生表彰	45,360	
● 交流推進経費	40,000	
○ 連合大会準備推進費	0	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	
● ASK嶺南-ASJ九州合同音響会議 (名称: Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics)	140,000	
○ 講演資料作成費	40,000	
○ 会場費	0	
○ アルバイト	60,000	
○ 通信印刷費	20,000	費目名変更
○ その他の経費	20,000	費目名変更
● その他の事業経費	30,000	費目名変更
■ 予備費	0	
● 予備費	0	
当期支出合計 (C)	499,515	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 103,515	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	550,041	
★ 今期繰越金返金	550,041	費目名変更
支部繰越金	0	

平成16年度日本音響学会九州支部決算

平成17年3月26日

収入の部	平成16年度 予算額	平成16年度 決算額	差異 決算－予算	決算備考
■ 補助交付金	396,000	396,000	0	
● 支部交付金	396,000	396,000	0	
■ その他の収入	0	8	8	預金利子
当期収入合計(A)	396,000	396,008	8	
前期繰越再交付金	653,556	653,556	0	
収入合計(B)	1,049,556	1,049,564	8	
支出の部	平成16年度 予算額	平成16年度 決算額	差異 予算－決算	決算備考
■ 事務費	154,155	70,685	83,470	
● 支部総会経費	26,655	9,393	17,262	
○ 支部総会会場費	4,155	4,155	0	
○ 講演謝礼	0	0	0	
○ アルバイト	20,000	4,950	15,050	@¥900/h*2.5h*1名, @¥900/h*3h*1名
○ その他の経費	2,500	288	2,212	会場案内看板用紐代
● 役員会費	2,500	2,215	285	ペットボトル入り飲料代
● 通信印刷費	40,000	29,360	10,640	総会等書類郵送料, 返信用切手代
● 文具消耗品費	25,000	2,675	22,325	封筒, 領収書整理用物品代
● ネットワーク環境整備費	30,000	25,887	4,113	サーバ用ハードディスク代
● 給与諸給	10,000	0	10,000	
● 諸手数料	5,000	1,155	3,845	振込手数料
● その他の管理費	15,000	0	15,000	
■ 事業費	345,360	125,895	219,465	
● 電気関係学会九州支部連合会分担金	30,000	30,000	0	
● 学生のための研究発表会	0	0	0	
○ 会場使用料	0	0	0	
○ 特別講演準備補助(2名分)	0	0	0	
○ 講演資料作成費	0	0	0	
○ アルバイト	0	0	0	
○ その他の経費	0	0	0	
● 講演会・研究会開催支援	60,000	50,000	10,000	建築音響2件, 応用(電気)音響, 聴覚・音楽音響 九大COEシンポ, 騒音・振動の5件へ補助
● 学生表彰	45,360	45,895	△535	トロフィ, 手提げ袋代
● 交流推進経費	40,000	0	40,000	
○ 連合大会準備推進費	0	0	0	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	0	40,000	
● ASK嶺南－ASJ九州合同音響会議 (名称: Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics)	140,000	0	140,000	
○ 講演資料作成費	40,000	0	40,000	
○ 会場費	0	0	0	
○ アルバイト	60,000	0	60,000	
○ 通信印刷費	20,000	0	20,000	
○ その他の経費	20,000	0	20,000	
● その他の事業経費	30,000	0	30,000	
■ 予備費	0	0	0	
● 予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	499,515	196,580	302,935	
当期収支差額(A)-(C)	△103,515	199,428	△302,943	
次期繰越収支差額(B)-(C)	550,041	852,984	△302,943	
★ 今期繰越金返金	550,041	852,984	△302,943	
支部繰越金	0	0	0	

3. 平成 16 年度会計監査報告

会計監査の結果、適正と認められたので報告する。

平成 17 年 3 月 26 日

日本音響学会九州支部

支部長 渡邊 亮 殿

日本音響学会九州支部

会計監査 江端 正直



会計監査 藤本 卓也



平成 16 年度収支決算書について、関係書類とともにその内容を
監査した結果、法令および支部規則に照らして正当であることを認
めます。

4. 平成 17 年度活動計画

事業年度：平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日

(1) 事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会，研究会等の実施

平成 17 年度も，前年度並みの開催数を見込んでいる。講演会，学会等の開催協力にも適宜，対応する。平成 17 年度は「学生のための研究発表会」を開催する。

2. 学生表彰の実施

平成 17 年度内に九州支部が主催または共催する，研究発表会，研究会および「学生のための研究発表会」における学生の口頭発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する。→ 応募者を増やす方法を関係者で検討

3. 電気関係学会九州支部連合会における活動

分担金の支出，役員の派遣。連合大会が 9 月 29, 30 日（木，金）に福岡，福岡工業大学にて開催される。平成 17 年度からの連合大会運営方針に基づき，開催の当番学会は，主当番学会 電子情報通信学会／副当番学会 映像情報メディア学会

（日本音響学会 2005 年秋季研究発表会は，9 月 27～29 日（火～木）東北大学で開催予定）

4. 韓国音響学会嶺南支部との連携

平成 18 年度開催予定の第 3 回 「Kyushu -Youngnam Joint Conference on Acoustics: KYJCA-2007」の開催（開催地：日本）。Secretary General は九州大学の尾本章先生。

(2) 事務，その他の活動

1. メーリングリストの管理移行

＜意図＞ボランティアベースの運用から，（今後の方向性と思われる）音響学会本体への資源集中。管理の明確化。

＜状況＞メーリングリストを音響学会本体 asj.gr.jp に移行する案については役員メーリングリスト会議で了承。総会の出欠票を利用して，九州支部メーリングリストへの登録勧誘を実施。これらの結果を含めて 17 年度メーリ

ングリストを整備予定。

2. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書，支部からのお知らせ，支部行事の報告，研究室訪問の充実。

3. 役員選挙の実施および役員会，総会の開催

平成 18 年 3 月に実施，開催。

5. 平成17年度日本音響学会九州支部予算

平成17年3月26日

収入の部	平成17年度 予算額	平成16年度 予算額	差異 17予算－16予算	備考
■ 補助交付金	401,000	396,000	5,000	
● 支部交付金	401,000	396,000	5,000	
■ その他の収入	0	0	0	預金利子
当期収入合計(A)	401,000	396,000	5,000	
前期繰越再交付金	852,984	653,556	199,428	
収入合計(B)	1,253,984	1,049,556	204,428	

支出の部	平成17年度 予算額	平成16年度 予算額	差異 17予算－16予算	予算備考
■ 事務費	164,100	154,155	9,945	
● 支部総会経費	36,600	26,655	9,945	
○ 支部総会会場費	4,100	4,155	△55	
○ 講演謝礼	10,000	0	10,000	
○ アルバイト	20,000	20,000	0	会場設営他
○ その他の経費	2,500	2,500	0	
● 役員会費	2,500	2,500	0	お茶代他
● 通信印刷費	40,000	40,000	0	総会等挙書類郵送料, 返信用切手代他
● 文具消耗品費	25,000	25,000	0	
● ネットワーク環境整備費	30,000	30,000	0	
● 給与諸給	10,000	10,000	0	
● 諸手数料	5,000	5,000	0	振込手数料
● その他の管理費	15,000	15,000	0	
■ 事業費	380,000	345,360	34,640	
● 電気関係学会九州支部連合会分担金	30,000	30,000	0	
● 学生のための研究発表会	170,000	0	170,000	
○ 会場使用料	10,000	0	10,000	
○ 特別講演準備補助(2名分)	20,000	0	20,000	
○ 講演資料作成費	80,000	0	80,000	
○ アルバイト	50,000	0	50,000	会場設営, 資料作成準備他
○ その他の経費	10,000	0	10,000	
● 講演会・研究会開催支援	60,000	60,000	0	1研究会当たり10,000支援予定
● 学生表彰	50,000	45,360	4,640	トロフィ代他
● 交流推進経費	40,000	40,000	0	
○ 連合大会準備推進費	0	0	0	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	40,000	0	
● ASJ九州－ASK嶺南合同音響会議 (名称: Kyushu-Youngnam Joint Conference on Acoustics)	0	140,000	△140,000	
○ 講演資料作成費	0	40,000	△40,000	
○ 会場費	0	0	0	
○ アルバイト	0	60,000	△60,000	
○ 通信印刷費	0	20,000	△20,000	
○ その他の経費	0	20,000	△20,000	
● その他の事業経費	30,000	30,000	0	
■ 予備費	0	0	0	
● 予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	544,100	499,515	44,585	
当期収支差額(A)-(C)	△143,100	△103,515	△39,585	
次期繰越収支差額(B)-(C)	709,884	550,041	159,843	
★ 今期繰越金返金	709,884	550,041	159,843	
支部繰越金	0	0		

6. 平成 17 年度支部役員および評議員選挙結果

平成 17 年 3 月 26 日

(社) 日本音響学会九州支部

任期：平成 17 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

各候補者は 65 票以上を獲得し、承認された

役職別	候補者氏名	勤務先
評議員 (5 名選定)	岩宮 眞一郎	九州大学大学院 芸術工学研究院
	上田 裕市	熊本大学大学院 自然科学研究科
	尾本 章	九州大学大学院 芸術工学研究院
	西 隆司	北九州市立大学 国際環境工学部
	矢野 隆	熊本大学工学部
庶務幹事 (1 名選定)	宮園 博光	熊本県立大学総合管理学部
会計幹事 (1 名選定)	寺本 顕武	佐賀大学理工学部
会計監査 (1 名選定)	瀬戸 邦聰	佐賀大学理工学部

来年度まで任期が継続する役員は、以下のとおり。

任期：平成 16 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

- ・ 支部長 : 渡邊 亮
- ・ 副支部長 : 高良 富夫
- ・ 評議員 : 大鶴 徹, 白石 君男, 福留 公利, 藤原 恭司, 柚木 謙一
- ・ 庶務幹事 : 鮫島 俊哉
- ・ 会計幹事 : 秋田 昌憲
- ・ 会計監査 : 江端 正直

7. 日本音響学会九州支部規則および細則の改正について

(1) 支部細則の改正

日本音響学会九州支部のサーバの管理はボランティア活動で支えられているが、この活動を表面化する。

(現細則)

平成 10 年 4 月 3 日制定

...

...

[付則]

- 1 この細則は平成 10 年 4 月 3 日から施行する。
- 2 この細則の改正は、平成 15 年 10 月 1 日から適用する。

(改正案)

平成 10 年 4 月 3 日制定

平成 16 年 3 月 27 日改正

平成 17 年 3 月 26 日改正

...

(支部のサーバの管理)

[第 5 条] 支部のサーバの管理者としてサーバ・ネットワーク管理委員をおく。管理スキルおよび円滑なサーバ運用の必要性に鑑み、委員数、任期、および委員選定は支部役員会で協議し決定する。

...

[付則]

- 1 この細則は平成 10 年 4 月 3 日から施行する。
- 2 この細則の改正は、平成 15 年 10 月 1 日から適用する。
- 3 この細則の改正は、平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

→ サーバ・ネットワーク管理委員として

熊本大学工学部 荻木禎史委員

が承認された。

8. 電気関係学会九州支部連合会役員の承認について

平成17年度、電気関係学会九州支部連合会に、3名の役員を派遣することが決まっている。そこで、以下をたたき台として提案する。

日本音響学会九州支部 における役職	電気関係学会九州支部連合会 における役職	役員氏名
支部長	理事	渡邊 亮
適任者	役員	高良 富夫
庶務幹事	役員（庶務幹事）	鮫島 俊哉

9. 電気関係学会九州支部連合会の運営形態について

平成16年9月27日開催の電気関係学会九州支部連合会役員会において、平成17年度からの運営形態が決定された。

<連合大会の運営>

平成17年度から、主当番学会と副当番学会との協同で連合大会を運営する。主副の当番学会グループの構成は下記の通りとし、主副各グループから毎年交代で1学会が（下記の記載の順番で）当番を務める。平成17年度の開会は、主当番学会 電子情報通信学会／副当番学会 映像情報メディア学会 となる。

（平成15年度 日本音響学会、平成16年度 電気学会 がそれぞれ当番を務めたので、上記の学会が当番となる。）

主当番候補学会：電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会

副当番候補学会：映像情報メディア学会、照明学会、電気設備学会、日本音響学会

平成20年度までの当番学会を例示すると下記の通り。

年度	当番学会	開催校
平成15年度	日本音響学会	崇城大学（熊本）
平成16年度	電気学会	鹿児島大学
平成17年度	電子情報通信学会 映像情報メディア学会	福岡工大
平成18年度	情報処理学会 照明学会	宮崎
平成19年度	電気学会 電気設備学会	沖縄

平成20年度	電子情報通信学会 日本音響学会	大分
--------	--------------------	----

＜各学会からの派遣役員数と、会長、庶務幹事長等の選定に関する事項＞

平成17年度からの各学会からの派遣役員数

主副の別	当番学会	それ以外の当番候補学会
主	7名	5名
副	5名	3名

（平成16年度までは 当番学会 8名 その他の学会 4名 であった。）

音響学会九州支部としては、副当番学会になったとき5名、副当番候補学会になったとき3名の役員を出すことになる。

会長は連合大会主当番学会と連合大会副当番学会それぞれの支部長から、全学会の支部長の協議により選ばれる。もう一方の支部長は副会長に就任する。会長と同じ学会の庶務幹事が幹事長に、もう一方の庶務幹事が副幹事長に就任する。会計幹事、会計監査はそれぞれ連合大会主当番学会または連合大会副当番学会の会計幹事、会計監査に相当する者があたる。

（副当番学会から会長が選ばれる余地は残された。）

＜参考 連合会の運営検討に関する経緯＞

- 「運営を担当する学会が、現状では参加7学会すべての持ち回りとなっているが、これで良いのか」という連合会篠原運営委員長（当時）の意見を受けて、各学会に持ち帰って検討を行うことになった。
- 平成16年3月の日本音響学会九州支部総会において、各連合会支部の運営形態に関する資料（下記参照）を参考に検討
結果 支部としては、（1）東海支部方式を望む、だめなら（2）北海道方式を望む
- 平成16年4月27日 新旧幹事会（九州大学）、5月24日 第1回役員会（新旧役員会）（九州大学）、9月13日 幹事会（九州大学）、9月27日 第2回役員会（鹿児島大学）において議論の後、新運営形態決定。
（上記会合の状況については逐次、庶務幹事緒方より支部役員にメールにて報告）

各連合会支部の運営形態（一部抜粋）

連合会支部名	運 営 形 態	加 盟 学 会
北海道支部	主当番学会（電気学会，電子情報通信学会，情報処理学会から持ち回りで1学会）と副当番学会（照明学会，映像情報メディア学会，電気設備学会から持ち回りで1学会）が出て，連合大会開催大学と共に運営。	電気学会，照明学会，電子情報通信学会，情報処理学会，映像情報メディア学会，電気設備学会（各北海道支部），IEEE 札幌支部
東海支部	事務局は，電気学会，電子情報通信学会，情報処理学会の3学会で持ち回り。	電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本音響学会各東海支部・電気設備学会中部支部・IEEE 名古屋支部

10. 電気関係学会九州支部連合会の著作権規定について

平成 16 年 3 月の日本音響学会九州支部総会において、連合会から提案の著作権規定（案）を検討した。九州支部としては案を了承した。その後、連合会幹事会、役員会で議論を重ね、より詳細な規定としてまとめられた。

- 連合大会講演論文集に掲載される論文の著作権譲渡、および著作権規定については平成 16 年度電気関係学会九州支部連合会の Web ページで下記のようにアナウンスが開始されている。ページ数が膨大なため本資料への掲載は省略するが、URL は下記の通り。

著作権譲渡 <http://www.jceee-kyushu.jp/crt.html>

著作権規定 <http://www.jceee-kyushu.jp/cr.html>

（以下は、連合大会の Web 掲載資料から引用）

- ■著作権の譲渡のお願い

電気関係学会九州支部連合会では、連合大会運営における出版業務や論文のインターネット公開など主催学会会員に対するサービスを円滑且つ責任をもって行なうため、ご投稿いただく論文の著作権の移譲を講演者の皆様にお願ひ致します。本年は、提出時に本会の著作権規定をお読みいただき、御同意をさせていただくことで論文原稿を提出できるようになっております。著作権を本会に一括して帰属させることにより、著作者が本来行なうべき複写権や公衆送信権（電子情報化を含む）に伴う管理業務から著者自信を解放し、同時に御提出いただいた論文について図書館における複写やネットを通して行なわれている論文サービスを活用して、論文を会員の皆様や社会に役立てることが可能となります。是非、協力をお願い致します。著作権譲渡に関する詳細は[こちら](#)、連合会著作権規定は[こちら](#)です。

- 著作権譲渡を実施したことにともない、著作権の運用（複写依頼等への対応）を「学術著作権協会」に委託することになった。委託料は不要。複写料金等は他の学会に倣うことになった。
- 科学技術発信・流通総合システムJ-STAGEに登録し、データベースで論文を検索閲覧できる方向で検討が進められている。日本音響学会九州支部としては下記のように連合会に回答（役員へのメールで承認済み）

A: J-STAGEへの参入の是非 >賛成

B: 参入後の閲覧費用をどうするか > 連合会の判断に一任

● 特許に関する事項

下記のように連合大会は特許法30条第4項の例外規定の対象となる指定団体に含まれない。日本音響学会会員は学会事務局に証明を依頼することになる。

(以下は、連合大会の Web 掲載資料から引用)

著作財産権以外の権利、例えば著作人格権や、特許権を含む工業所有権。(注意：電気関係学会九州支部連合大会は特許における「新規性喪失適用除外例」*の対象となる、特許法30条における指定団体に含まれておりませんが、主催する学会のほとんどはこの指定団体となっております**。よって、発表後に特許出願時をする際に必要である特許法30条第4項に規定されている「証明する書面」、を連合会が発行することはできません。一方で、参加者が所属する学会がその指定を受けている場合には、その学会による「証明する書面」の発行が可能です***。なお、連合会はこの書面の発行について、一切関与いたしません。

* この適用除外は国際特許出願時には通用いたしませんので、発表前の出願をお勧めします。

* * 各学会が指定団体であるか否かは

(<http://www.jpo.go.jp/torikumi/30jyou/30jyou2/dantai.htm>) で調べることが可

日本音響学会事務局からのコメント

=====

例外規定（特許法第30条4項）に関して

○九州支部大会で発表した方への証明も対応する。

○事務局として証明書を発行するのではなく、申請の方が特許庁に出す書類に証明の印を押印するという対応になる。そのため、特別な処理手続きというものはない。

○第3者が勝手に特許申請するようなケースを排除するため、論文に連名として名前の出てこない方からの申出については証明しないようにしている。

(会社が論文発表後に先生から買い取るようなケースもある)

=====

11. 支部学生表彰について

18名の役員中、10名の方からいただいた審査結果に基づき、学部生、大学院博士前期課程、大学院博士後期課程の各カテゴリーで最も得点の高かった、以下の3名を表彰することとしたい。

学生氏名（よみがな）：高田 俊亨（たかだ としみち）

学生所属：熊本大学工学部数理情報システム工学科 4年

口頭発表論文題目：Performance evaluation of low bit rate coding block in speech encryption system

指導教官氏名：宇佐川 毅

学生氏名（よみがな）：竹谷 和紀（たけや かずき）

学生所属：九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻修士課程 1年

口頭発表論文題目：連続測定法による HRTF の短時間計測とその応用-虚像法に基づく反射波に相当する HRIR の作成について-

指導教官氏名：福留公利

学生氏名（よみがな）：山川 仁子（やまかわ きみこ）

学生所属：熊本大学大学院自然科学研究科博士後期課程 1年

口頭発表論文題目：日本語学習者における破擦音「ツ」の習得－韓国語母語話者についての考察－

指導教官氏名：宇佐川 毅

12. その他

総会後追記

役員会・総会での主な意見等は下記の通り

- ・ YKJCA-2005 では、今回は韓国側の主催であり、日本国内での連絡等もインターネットベースであったので、九州支部としての支出はなかった。2年後の九州側主催の会議については繰り越し分を活用する方向で検討するが、予算面等留意しておく。
- ・ YKJCA-2005 の懇親会では、終了後その会場を学生がしばらく利用

できる環境となっていた。日韓の学生が交流を深めるのに非常に有意義な場となっていた。

- ・ 学生表彰の応募人数を増やすために、関係者で対応策を検討する（募集方法・審査方法）。

- ・ 学生会員も多いことを考慮し、より学生に対して還元できるように、講演会等を充実させる（講師を呼びやすいように旅費の手当等はいかな）。

- ・ サーバのメンテナンスや Web コンテンツの作成などは、学生アルバイトも積極的に利用してはどうか。